

科目番号		53008	分類	専門科目 看護教育科学領域	履修者	看護科学コース (看護管理者プログラム)		学年	
科目名	看護教育学特論Ⅱ (Advanced Study in Science of Nursing Education Ⅱ)							1	
								配当セスター	
								後期	
担当者	○上國料 美香			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
【概要】 科学的根拠に基づく教育（EBE）を展開するために不可欠な、カリキュラムの編成・運用に関する基礎知識の修得を目指す。また、看護基礎・卒後・継続教育に携わる看護職者がカリキュラム編成・運用に関する基礎知識を修得する意義を考察する。 【目標】 1. カリキュラム編成の4つの段階を説明する。 2. 1を前提に、看護基礎教育課程のカリキュラムの実際を説明する。 3. 看護基礎・卒後・継続教育に携わる看護職者がカリキュラム編成・運用に関する基礎知識を修得する意義を多角的に説明する。						○	1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力		
						○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
						○	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力		
							4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステムの管理能力の向上		
							5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢		
授 業 計 画									
回		内 容							担当教員
第1回		ガイダンス 授業の目的、目標、授業展開の理解 カリキュラムの定義、カリキュラム過程の構造							上國料
第2～3回		統合カリキュラム編成の実際：方向付けの段階							
第4～6回		統合カリキュラム編成の実際：形成段階							
第7～8回		統合カリキュラム編成の実際：機能段階							
第9～11回		統合カリキュラム編成の実際：評価段階							
第12～13回		高等教育の質の保証システム・自己点検・評価							
第14～15回		看護基礎教育課程の実際の把握と分析 まとめ							
事前・事後学習		事前学習：授業内容に関する図書、文献、事前資料を閲読し、ディスカッションの準備をする。 事後学習：資料の加筆・修正、ディスカッション内容をまとめる。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組む。							
評価の方法		プレゼンテーション 40%、プレゼンテーション参加度20%、レポート 40% フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等		◎ Gertrude Torres, et al（近藤潤子他訳）：看護教育カリキュラムその作成過程, 医学書院, 1988. ◎ 杉森みどり・舟島なをみ：看護教育学 第8版, 医学書院, 2024. その他、適宜に紹介する。◎必須図書							
備 考		オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							